



交通安全情報No.7

ストップ・ザ・交通事故

令和8年6月11日
警察本部交通部
交通総合対策センター

高齢ドライバーによる交通事故を防ぐために



運転前の体調チェック！

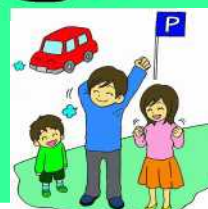
体調が悪いと、運転に必要な注意力や判断力などの低下を招き、交通事故のリスクが高まります。持病がある場合には、事前に病状や服用している薬が運転に影響しないかを医師に相談し、出発前に体調不良を感じたら、家族等に運転を依頼することや公共交通機関を利用することなどを検討しましょう。



「疲れたな・・・」と感じる前に休憩を！



気温が上がり暖かくなる日が増えていますが、運転の疲れが重なると注意力低下による「うっかり・ぼんやり運転」や「居眠り運転」を招きます。疲れを感じる前に、早め早めの休憩をとりましょう。



正しく着用！シートベルト・チャイルドシート

交通事故の衝撃から身体を守るシートベルトやチャイルドシートは、正しい着用方法で効果を発揮します。ベルトに緩みやねじれはないか、肩ベルトや腰ベルトの位置は正しいかなどを確認し、後部座席も含めた全ての座席でシートベルト・チャイルドシートを着用しましょう。



最近、こんなことはありませんか？

- 「周りが見えづらくなったかも・・・」
- 「運転中にヒヤッとすることが多くなった」
- 「うっかりや物忘れが多くなった」
- 「父の車にぶつめたような傷が増えている」



自分のこと、家族のこと、運転に不安を感じたら
安全運転相談ダイヤル #8080